

農林水産省農村振興局長賞

よこわちよう
横輪町活性化委員会（三重県伊勢市）

よこわざくら
～横輪桜と石垣の里 癒しの空間 横輪町～

横輪町は三重県伊勢市の南部に位置する中山間地域の集落であり、人口は97人、そのうち4割が65歳以上の高齢者という典型的な過疎地域である。

横輪町活性化委員会は、その住民全員が会員となって平成18年に発足した団体である。設立のきっかけは、過疎化・高齢化が進み、このままでは自分たちの地域が崩壊してしまうという危機感から、どのような形で自分たちの地区を活性化すべきかを議論するため、平成14年に数少ない町内の若手有志で検討を始め、通算78回もの会合を重ね、横輪町活性化計画を策定したことに始まる。その活性化計画に基づき、都市農山村交流促進施設「郷の恵『風輪』」が開設され、全国でここだけに咲く珍しい桜「横輪桜」や冬季に激しく吹き抜ける強風から家屋を守る石垣の景観を取り入れたマップ等の作成、多様な主体との連携により「横輪桜まつり」「横輪キャンドルナイト」に代表されるイベント及び自然体験ガイドなどの取組みを積極的に行っている。

同委員会では、人が元気に、むらが元気になることにより、次世代に癒しの空間である横輪町の美しい農村景観を引き継いでいけるよう、地域を愛し、地域のために活動できる人材の育成を行っている。



集落内の石垣と横輪桜



水田に映る横輪桜